

Environmental Annual Report

環境アニュアルレポート

2024

活動期間：2023年6月21日～2024年6月20日
(第52期)

発行日：2024年7月1日



株式
会社

マスパック



株式
会社

マスパック プロダクツ

目次

《はじめに》	
・ 目次	1
・ ご挨拶	2
・ 経営理念・経営方針	3
・ 環境経営方針	4
《マスパックについて》	
・ 会社概要	5
・ 設備	6
《環境レポート》	
・ 実施体制図及び役割・責任・権限	7
・ 主な環境負荷の実績	8
・ 環境経営目標及びその実績	8
・ 環境経営計画及び取組結果とその評価、次年度の取組計画	9
・ 緊急事態対応訓練	10
・ 環境関連法規等の順守状況	11
・ 代表者による全体の評価と見直し	11
《5つの経営》	
・ 5つの経営	12
・ ①環境経営	13～16
・ ②フィロソフィ経営	17・18
・ ③ガラス張り経営	19・20
・ ④品質経営	21・22
・ ⑤健康経営	23・24
《52期の主なでき事》	25
《工程・技術紹介》	26～28
《53期メンバー紹介》	29
《第53期 経営計画書 全体》	30

ご挨拶

3年にわたるコロナパンデミックは収束しましたが、ウクライナに続きイスラエルでも新たな戦火が起こり、世界の混乱は収まりません。ウクライナ戦争でロシアを非難した G7 諸国はアメリカを中心に、破壊・殺戮を繰り返すイスラエルを擁護する立場に回り、世界をリードする資格を失ったと言わざるを得ません。

日本では、円安、少子化、財政の悪化に歯止めをかけることができず、政界の混乱も相まって世界への発信力が弱っています。また、近海の海水温の上昇が豪雨被害や漁業への深刻な影響をもたらしています。

マスパックでは、「5つの経営」を推進しています。今年度、これまでの活動が認められ、エコアクション 21 オブザイヤーで銅賞を受賞し、エコアクション 21 西日本大会では自社の取組を発表させていただきました。また、朝礼で全従業員が輪読した鍵山秀三郎著「凡事徹底」から、気づく人になること、枠をできるだけ小さく使うことの大切さを学びました。これは環境問題解決へ向けても大きな一歩になることだと実感しています。

新年度は、大阪の隣地に新工場を建設する年になりますが、引き続き環境に対し関心を持ち、負荷をできるだけ小さくするよう努めてまいります。

第 52 期を締めくくるにあたり、環境保全などに対する当社の取組を紹介するために、環境アニュアルレポート 2024 を発行します。



株式会社マスパック
株式会社マスパックプロダクツ
代表取締役

増田 昭雄

2024 年 7 月

経営理念・経営方針

経営理念は、マスパックの存在意義・どのような目的で経営しているのかを示すものです。

特に **従業員全員が物心両面で豊かで幸福であること** を目指します。

そのためには、自分さえよければいいという考えは通じません。

「ひとりはおみんなのために、みんなはひとりのために」 という考えを実現します。

環境対策もその延長上にあると考えています。

〈経営理念〉

マスパックと取引してよかった
マスパックに入ってよかったと思える
会社づくりをしよう。

1. 従業員が物心両面で豊かで幸福であること
2. 得意先、仕入先が満足してわが社と取引してくれること
3. 会社が発展し、社会のために役立つこと

〈経営方針〉

わたしたち株式会社マスパックは、
創造性とんだ安心して使える製品をスピーディーに
お客様にお届けすることにより、社会の発展に貢献します。

環境経営方針

基本姿勢

私たち株式会社マスパックは、紙製ディスプレイ、パッケージの製造を通じて、将来の世代が安心して暮らせる環境維持を目指して二酸化炭素の削減による温暖化防止と、従業員の心の成長を目指して社内外の環境美化に取り組みます。

行動指針

経営理念を実現するために、次のことに取り組み継続的改善に努めます。

1. 環境関連の法規制や当社が約束したことを守ります。
2. 電力、自動車燃料および都市ガスによる二酸化炭素排出量の削減に努めます。
3. もったいないという気持ちを大切にして、当用買いを徹底するとともに歩留まりを向上させ、ロスを削減します。
4. 節水に取り組みます。
5. 環境に配慮した物品の購入を推進します。
6. リサイクルしにくい材料の使用を減らし、再資源化に配慮した製品づくりを行います。
7. 3S 活動により社内の整理、整頓、清掃を徹底します。
8. 近隣の美化に取り組み、地域を愛し地域から愛される会社を目指します。



株式会社マスパック
株式会社マスパックプロダクツ
代表取締役

増田 昭雄

制定日：2014 年 10 月 1 日
改定日：2023 年 2 月 4 日



会社概要

組織の概要

(1) 名称及び代表者名

株式会社 マスパック
代表取締役 増田昭雄

(2) 所在地

本社、株式会社マスパックプロダクツ本社工場 大阪府摂津市南別府町 1-3
倉庫 大阪府摂津市西一津屋 2-15
第2倉庫 大阪府摂津市西一津屋 2-14
東京本社 東京都中央区八丁堀 3-19-9

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 増田昭雄 TEL : 06-6340-5321
担当者 惣埜智一

(4) 事業内容

紙製ディスプレイ・パッケージの企画・製造・販売
主要製品：紙製ディスプレイ、パッケージ

(5) 事業の規模

売上金額 8.74 億円

		本社	倉庫	東京本社	合計
従業員	名	35	-	9	44
延べ床面積	m ²	871	420	207	1,498

(6) 事業年度

6月21日～翌6月20日

認証・登録の対象組織・活動

登録事業者名：株式会社マスパック
対象事業所：大阪本社、(株)マスパックプロダクツ本社工場、倉庫、第2倉庫
東京本社
活動：紙製ディスプレイ・パッケージの企画・製造・販売

沿革

1968年 1月 大阪市淀川区にて増田紙業(個人)を創業
1973年 4月 大阪市東淀川区瑞光通に工場移転
資本金 3,000,000 円にて法人設立
1982年 9月 大阪府摂津市(現在地)に本社工場を移転
資本金 10,000,000 円に増資
1991年 3月 新社屋落成、同時に株式会社マスパックに社名変更
1991年 11月 ホームページ開設
1997年 8月 サンプルカット用キヤド導入
2000年 11月 代表取締役に増田昭雄就任
2002年 4月 東京営業所開設
2007年 10月 プレミアムインセンティブショーに初出展
2010年 10月 大阪ものづくり優良企業賞 受賞
2013年 11月 インクジェットプリンター(フラットヘッド)導入
2015年 1月 エコアクション 21 認証取得
2019年 10月 東京支店を本社に格上げ
2020年 11月 事業継続力強化計画 認定
2021年 3月 経営革新計画 承認
10月 FSC® 森林認証取得
2022年 3月 健康経営優良法人ブライツ 500 認定
8月 株式会社マスパックプロダクツに製造部門を分割
2023年 10月 摂津優技(すぐれわざ)受賞

設備

土地建物

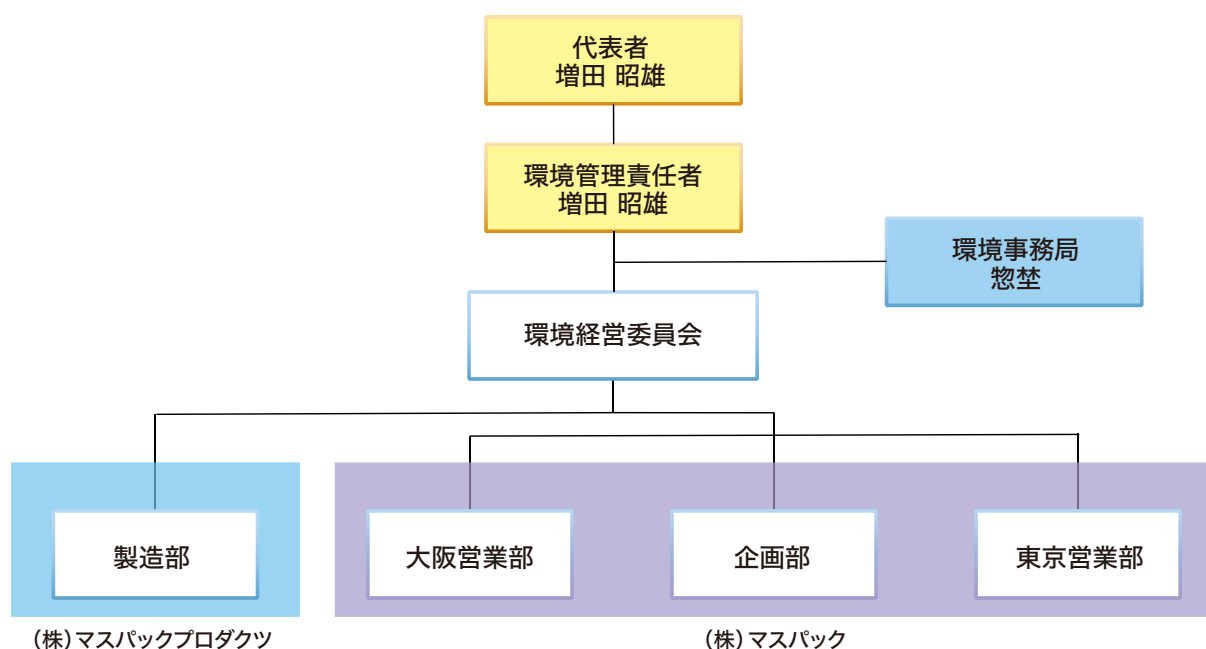
大阪本社工場敷地	964 m ²
鉄骨 3 階建事務所棟	871 m ²
倉庫	420 m ²

主な機台装置

段操機シングルフェイス B 段 (1300mm)	1 基
段操機シングルフェイス E 段 (1350mm)	1 基
オートカッター	1 基
自動貼合機 (1150×1250mm)	1 基
自動トムソン (抜き防止装置付き) (910×1280mm)	1 基
ワンタッチグルアー (最大幅 1400mm)	1 基
両面テープ貼機	1 基
フィルムラミネーター (1600mm)	1 基
設計用 CAD	5 台
サンプルカット機 (1300×1200mm)	3 基
デザイン用 Mac	5 台
大型インクジェットプリンター (最大幅 1625mm)	2 基
防虫対策用捕虫器	8 台



実施体制図及び役割・責任・権限



役割・責任・権限	
代表者（社長） 増田 昭雄	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境目標・環境活動計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境活動レポートの承認
環境管理責任者 増田 昭雄	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境目標・環境活動計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境活動レポートの確認
環境事務局 惣埜	・環境管理責任者の補佐 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境目標、環境活動計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境活動レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
環境経営委員会 大野	・環境活動計画の審議 ・環境活動実績の確認・評価
部門長	・自部門における環境方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 ・試行・訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

主な環境負荷の実績

項目	単位	49期	50期	51期	52期
		2020年	2021年	2022年	2023年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	88,222	86,342	72,536	47,598
廃棄物排出量					
一般廃棄物排出量	kg	1,700	1,700	1,700	1,700
産業廃棄物排出量	kg	260,690	267,900	249,910	214,810
水使用量	m ³	920	893	590	620

灯油、都市ガスを含む

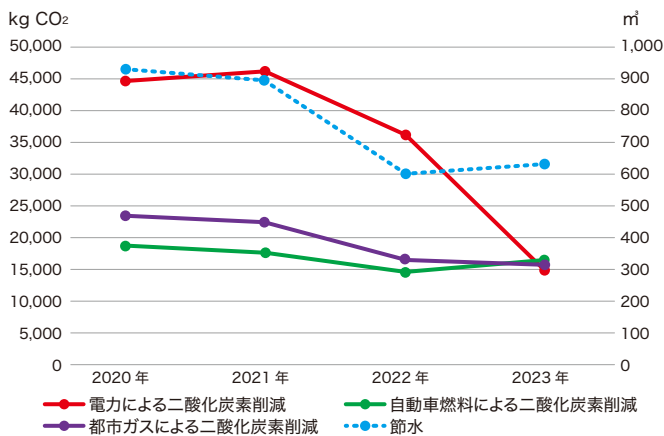
※電力の二酸化炭素排出量換算値：0.434kg-CO₂/kWh（2023年関西電力基礎排出係数）

※産業廃棄物は古紙（再生利用）、PP、金銀を含む古紙、木型、汚泥の廃棄量

環境経営目標及びその実績

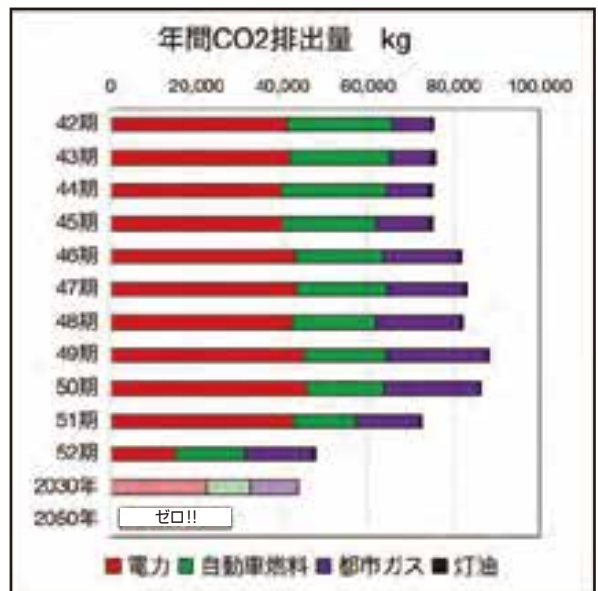
項目	年度	49期	50期	51期	52期			53期	54期
		2020年 (実績)	2021年 (実績)	2022年 (実績)	2023年 (目標)	2023年 (実績)	2023年 (評価)	2024年 (目標)	2025年 (目標)
電力による 二酸化炭素削減	kg-CO ₂	45,060	45,738	42,402	41,978	14,814	達成	41,554	41,130
	前年比		102%	93%	99%	35%		98%	97%
	kWh	87,665	88,984	82,495	81,670	81,107		80,845	80,020
自動車燃料による 二酸化炭素削減	kg-CO ₂	19,076	18,026	14,585	14,293	16,361	未達	13,710	13,272
	前年比		94%	81%	98%	112%		94%	91%
都市ガスによる 二酸化炭素削減	kg-CO ₂	23,608	22,040	16,266	15,778	15,861	未達	15,305	14,831
	前年比		93%	67%	97%	98%		97%	94%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	87,744	85,804	66,653	65,516	47,036		64,101	62,832
ごみ・リサイクル	kg	2,163	1,833	1,815	—	1,563	—	—	—
節水	m ³	920	893	590	572	620	未達	572	555
	前年比		103%	66%	97%	105%		97%	94%
再資源化配慮製品づくり	再生資源を 優先利用	再生資源を 優先利用	再生資源を 優先利用	再生資源を 優先利用	再生資源を 優先利用	再生資源を 優先利用		再生資源を 優先利用	再生資源を 優先利用

※kWhの値はCO₂排出ゼロも含むTotalの使用量 ※ごみ・リサイクルはストレッチフィルムと剥離紙のリサイクル量



CO₂排出係数 今回から以下のように変更した

	前回	今回
電力	0.514	
日本テクノ		0.465
関西電力		0.434
東京電力		0.398
大阪ガス	2.080	2.290
ガソリン	2.322	2.330
軽油	2.624	2.619
灯油	2.492	2.489



年間CO₂排出量

	電力	自動車燃料	都市ガス	灯油	全体
42期	41,163	24,387	9,123	404	75,077
43期	41,621	23,530	9,514	897	75,562
44期	39,543	24,697	9,876	853	74,969
45期	40,006	21,726	12,513	717	74,962
46期	42,995	20,578	17,324	897	81,794
47期	43,021	21,305	18,261	458	83,045
48期	42,240	19,382	19,857	628	82,107
49期	45,060	19,076	23,608	478	88,222
50期	45,738	18,026	22,040	538	86,342
51期	42,402	14,585	14,772	777	72,536
52期	14,814	16,361	15,836	538	47,598
2030年	22,500	10,000	11,000	0	43,500
2050年	0	0	0	0	0

環境経営計画及び取組結果と その評価、次年度の取組計画

数値目標：○達成 ×未達成

◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画			達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
電力による二酸化炭素削減				
数値目標	-1%	昨年比	○	52期、使用量が-2%の成果を上げる事が出来た。昨年度は大きな削減を達成した事で今期では同様な削減は難しいと考えていたが、目標を超える成果を出せた事は非常に良かったと評価が出来る。9月から大阪の電力はCO2フリーに切り替えたので、CO2ベースでは昨対41%となった。
・空調温度の適正化 (冷房 26℃ 暖房 23℃)			○	
・不要照明の消灯			◎	
・機械のアイドリングの時間を短くする			○	
自動車燃料による二酸化炭素削減				
数値目標	-2%	昨年比	×	22年2月に貨物車を軽油車からガソリン車に替えたことにより、ガソリン+29%、軽油-19%、合計で+12%という結果になった。仕事量に対して車両の使用頻度多くなるのは当然です。使用量だけの判断ではなく本当に必要な事に今後、注力する事が大切な事だと感じます。来期、自分達が必要と感じる事を実施し使用量の削減に繋がる取組みを行いたいと思います。
・アイドリングストップ			◎	
・効率的なルーティング			◎	
・エコドライブ			○	
都市ガスによる二酸化炭素削減				
数値目標	-3%	昨年比	×	昨対-2%と目標にあと一歩届かない結果で、今期を終える事となった。原因として特に下期での使用量が5月度以外全ての月で昨対を超える数字となった事、ハレターが新人に代わり作業が不慣れな点が考えられる。またEアクション審査時に配管全てに断熱材を巻くことを進めて頂いたが、まだ実施ができていない事などもあり、来期は行動に移すよう準備する。
・同寸法はまとめて作業するなど効率の良い機械操作			◎	
・歩留まりによる生産ロスの削減			○	
節水				
数値目標	-3%	昨年比	×	今期の使用量は昨対+5%で終える事になった。12月から増加していたが原因がはっきりとしていなかった。ハレターに話を聞いた所、作業の中断時に水道を出しっ放しになっていたことが分かった。ハレターには改めるように指導したが、来期も数字の動向を注視する。
・機械の洗浄時、水の止め忘れに注意する			×	
・必要以上に手洗いなどの水を出しすぎない			○	
再資源化配慮製品づくり				
・再生資源を優先利用する			○	リサイクルしやすい素材を得意先に提案し、それができない場合は歩留まりを上げ廃棄ごみ量を減らす。また、設計及び出荷する商品については、可能な限り梱包をコンパクトにする取り組みを継続している。
・梱包をコンパクトにする			◎	
・リサイクル可能な材料を得意先に推奨する			△	

緊急事態対応訓練

緊急事態の想定	地震の発生
日 時	2023/10/30(月)
内 容	大阪本社にて地震時の避難訓練+摂津市防災危機管理課による講習
試行・訓練の内容	☒ 通報訓練 ☐ 消火訓練 ☒ 避難訓練 ☐ 心肺蘇生法
① 地震の発生（震度6強）を想定し避難、点呼の流れを共有し注意事項などの説明 ② 3Fにて摂津市防災危機管理課（2名）による実際の災害時での対応及び被害範囲などの講習会	
参加者	大阪(社員・パート)+摂津市防災危機管理課(2名)
実施責任者	大野
試行・訓練結果の評価	手順書の変更の必要性： ☐ 有 ☒ 無
① 避難訓練：地震(震度6強)での想定。構内放送により避難経路・点呼・方法の確認。 ② 3F(食堂にて)：摂津市防災危機管理課、協力のもと地震時の対応と行動について講習。 ④ 大阪本社の備蓄品の在庫状況の説明。 ⑤ 災害伝言ダイヤルの説明。 ⑥ BCPハンドブックのデジタル版の説明。	
実施状況の様子	 

緊急事態の想定	地震の発生
日 時	2023/11/1(水)
内 容	東京本社にて地震時の避難訓練
試行・訓練の内容	☒ 通報訓練 ☒ 消火訓練 ☒ 避難訓練
① 地震の発生を想定し、避難、注意事項などの訓練 ② 引き続き、火災の場合の対処方法をレクチャー	
参加者	東京7名
実施責任者	佐藤、益田、下里
試行・訓練結果の評価	手順書の変更の必要性： ☐ 有 ☒ 無
① 避難訓練を実施。避難経路、方法を確認。 ② 消火器の場所の確認と使い方の共有。 ③ 避難梯子、備蓄品保管場所、避難場所の確認。 ④ BCPハンドブックの読み合わせ。 ⑤ 災害用伝言ダイヤル練習。	
実施状況の様子	 

環境関連法規等の順守状況

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物（木型・金属類）、汚泥
騒音・振動規制法	空圧機、送風機、紙工機械、集塵装置
NOx・PM法	トラック、バン
フロン排出抑制法	（簡易点検）業務用空調機、エアドライヤー

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありませんでした。

環境に関する苦情・要望等

環境に関する苦情等はありませんでした。

代表者による全体の評価と見直し

代表者による全体の評価と見直し・指示

CO₂排出削減への取組について、特に使用量の多い電力と都市ガスの削減が定着していることは評価できます。また、2023年9月から大阪の電力をCO₂フリーに切り替えたことにより、実際には今回算出した数字より大きく減っています。

東京本社は賃貸のオフィスに入っており、元々設置してあるエアコンの構成上、節電しにくのが悩ましかったのですが、近々エアコンの入替をするとのことなので、改善を期待しています。

「環境アニュアルレポート」と改称したこのレポートは23年7月に3回目を発行しましたが、内容を見ていただき、エコアクションオブザイヤー2023ソーシャル部門銅賞をいただけたり、西日本ミーティングで取組を発表させていただいたことはうれしいことでした。私が大阪事務局から普及戦略会議の委員に指名されたことも光栄です。

来期には、隣地を買取り、新工場の建設が始まります。使用する電力や燃料にも大きな変化があると思います。環境配慮を忘れずに無事に2025年春に竣工を迎えることができるよう、気を引き締めてゆかねばと考えています。

環境経営方針	☒ 変更なし	☐ 変更あり
環境経営目標・計画	☒ 変更なし	☐ 変更あり
実施体制	☒ 変更なし	☐ 変更あり

実績を踏まえて見直す

5つの経営

経営理念・経営方針に基づき、マスパックでは5つの取り組みをおこなっています。

従業員全員で取り組むことで会社の理念・ベクトルを共有できます。

また、社内の結束を強化するだけでなく、従業員の個々の成長にも繋がっています。





環境経営

Environment
Management

地球の環境保全は企業にとっても避けて通れない課題となっています。
エコアクション21活動により役割を果たしていきます。

エコアクション21活動 2015年に認証取得して以来、活動を続けています。



エコアクションオブザイヤー2023 銅賞受賞



2015年に認証取得して以来、活動を続けています。

昨年発行した環境アニュアルレポートの内容が評価され、エコアクション オブ ザ イヤー 2023 (ソーシャル部門) で銅賞を受賞しました。担当責任者が東京での表彰式に参加しました。

2023年度 エコアクション21 西日本ミーティングにて発表

エコアクション21の審査員や事務局員の方々の西日本ミーティングで、マスパックの取組を発表する機会をいただきました。担当責任の社員が 30 分間の発表を行いました。



大阪府脱炭素経営宣言に登録

2050年のカーボンニュートラルの実現に向けて、脱炭素経営に取り組むことを宣言しました。



大阪の電力をCO₂フリーに

2023 年 9 月に大阪で購入する電力を CO₂フリーに替えました。発電に要するエネルギーが、太陽光、水力や原子力などで、火力を含まないものということです。近い将来、得意先からクリーンエネルギーを使うように求められることがあるかもしれません。なお、デマンド値は 2009 年からコントローラーで 30 分毎に監視、設置前に 70kW を超えていましたが、現在は 52kW です。



EcoVadis を認証取得しました

EcoVadis とは、欧州発の国際的な認証制度で、「労働と人権」「環境」「倫理」「持続可能な調達」の 4 つの視点での企業の取組を点数で評価するということです。審査のために、100 項目以上の質問に回答し、登録できました。スコアは 57 点でブロンズメダルでした。



BCP(事業継続力強化計画)

事業継続力強化計画 (BCP) は、3 年前に認証を受けましたが、更新時期を迎え今回は事業分割した 2 社での、連携事業継続力強化計画として認証を受けました。

また、弊社では災害時にどのように行動すれば良いかを示した BCP ハンドブックを社員全員に持たせています。携帯でいつでも見れるようデジタル版も作成しました。



〈デジタル版〉



〈持ち運び用〉

防災訓練

今期、大阪本社では、摂津市役所 防災危機管理課の方に来社いただき、地震に対する身の守り方などのレクチャーを受けました。



〈防災管理課の方によるレクチャー〉



〈東京の避難訓練の様子〉

行政との連携による近隣清掃

大阪では、毎週、摂津市のびかぼ（環境美化ボランティア）運動に、東京では毎月中央区のまちかどクリーンデー運動に参加。地域と連携した3S活動につなげています。



〈びかぼ運動〉



〈まちかどクリーンデー運動〉

安全衛生の講習

9月にドライバーを対象に社員が安全運転講習を、11月にフォークリフト運転技能講習および生産機械の危険箇所の確認を行い、安全第一につなげています。



3S活動

毎朝 10 分間の社内清掃を続けています。また、環境経営委員会が整理整頓チェックシートを作成し、毎月点検。



〈東京で棚を整理した際のビフォーアフター〉

FSC® 認証

2021 年に FSC® 認証を取得しましたが、その後も継続して維持、利用しています。



〈サンプル〉

弊社ホームページ内の
FSC® ページ→



中央区エコアクト 認定

東京都中央区の「中央エコアクト」に登録しました。大阪と違い、テナントビルに入っているために、自力だけでは省エネ活動にも限界がありますが、できる取り組みを進めています。

中央エコアクトとは、二酸化炭素排出量削減のために事業所の方々が簡単な省エネ活動に取り組みながらポイントを貯め、ポイントに応じた参加メリットを受けることができる制度です。



エコアクション21 大阪事務局の委員を拝命

社長が大阪事務局から、普及戦略会議の委員に指名されました。弊社の活動が少しでも世の中に認められ広がっていけばいいなあと考えています。





フィロソフィ経営

Philosophy
Management

稲盛和夫さんが教えてくれるフィロソフィに基づいた経営を行っています。
経営理念にある「従業員が物心両面で豊かで幸福であること」を目指して、
「こころ」を鍛えるための取り組みを続けています。

経営理念

経営理念、経営方針、クレドの理解と実践を通じて、従業員の物心両面の豊かさを追求することを目的としています。マスパックでは2008年に経営理念、経営方針、クレドを1つにした冊子を作成しました。従業員全員がこれを暗記しており、週始めの日の朝礼にて唱和をおこないます。また経営理念は採用面接でも話をし、「ひとりはおみんなのために みんなはひとりのために」を実践すること、「感謝」の大切さを話し、賛同してくれる人だけを採用しています。



朝礼で 鍵山秀三郎著「凡事徹底」を勉強

毎朝の朝礼で全員が同じ本を読む勉強を10年以上続けています。
今期はこの本を3回読みました。掃除の大切さ、よく気づく人になるということ、与えられた枠をできるだけ小さく使うということなどを学びました。

従業員の声



掃除を題材にして、さまざまな物事に気づき関心を持つこと、見返りを求めず行うことなどを教わりました。



掃除なら誰でもできることなので、この本を教訓に今後はプライベートでもしっかり掃除をしたいと思います。



「京セラフィロソフィ」輪読会を東京でも実施

社員が参加する「京セラフィロソフィ」の輪読会は、大阪では 2019 年から月に 1 回行ってきましたが、2024 年 1 月から東京でも月に 2 回の頻度で始めました。稲盛さんのお話を、自分たちの経験に照らし合わせて感想や意見を述べ合っています。



みんなで表彰式

ひとりひとりが仲間の仕事に関心と感謝する心を持つことを目的として忘年会の席上で「みんなで表彰式」を行っています。日ごろ感謝しているメンバー宛てに書いた表彰文が、今期は昨期の倍以上の 385 通集まりました。



社員旅行を今年も実施

今期は規模を少し縮小し、京都府亀岡市に大阪、東京のメンバー 28 名で 1 泊 2 日で行ってきました。全額会社負担です。





ガラス張り経営

Disclose
Management

従業員が経営参画するためには会社の数字を含む情報をできる限り開示しなければなりません。様々な手段により、従業員の給料額とプライバシー以外は伝えるようにしています。

社長通信で社内外の情報を伝達

社長が毎週月曜日に発行する新聞「社長通信」は創刊 11 年目になり、500 号を超えました。今期は品質委員会が、社内のそれぞれの工程を担うスタッフにインタビューし、仕事の内容や工夫している点などを紹介した記事が好評でした。毎週の勉強会の復習、会議で決まったことの要旨、社内外の情報、前月の売上、従業員や家族の誕生日、社長のひとりごとなどを伝えています。

従業員の声



会社全体のお知らせや情報をこの 1 枚で知ることができるので、わかりやすいです。月始めには、その月に誕生日の人も紹介されたりするので楽しく見えています。

2024 年(令和6年)5月7日(火) 第 500 号 株式会社マスパック 株式会社マスバックプロジェクト

「聴く力」がある人は信頼される
コミュニケーションが大事だということはよく言われますが、単に報告、連絡、相談を密にしないというだけでなく、信頼をベースにした人間関係を築くことが、いかに大切なのではないでしょうか

先週から、朝礼の輪読本が金田諒恵 著「聴くのコツ」に変わりました。半年ほどかけて、100項目余りを勉強しています。

日本でもアビールすることや自己主張することが求められる時代になりましたが、私は人の話をじっくり聞き、その内容をまとめたり、その言葉の裏側まで把握する力を育てることはもっと大切だと思っています。

また、聴いているように見えるけれど、実際には聴いたふりをするしかないようにしていなければならぬとも思っています。

波多野さんが永年勤続 20 年を迎えました
波多野克明さんは、1 日で勤続 20 年を迎え、表彰しました。長い間ありがとうございます。

今後の予定をお知らせします
・5 月の大阪保健室は 24 日(金)に開きます。
・経営計画発表会は 6 月 29 日(土)14:00 から、別府コミュニティセンターで行います。全員参加です。
・12 月 14 日(土)の忘年会は、今年も新大阪ワシントンホテル内、チャイナテーブルを 18:00 から予約しました。

～隠れた職人工程、落丁とは～
中嶋さんにインタビュー 品質経営プロジェクト
Q: 落丁とはそもそも何でしょうか？
A: 貼合品やシートなどをトムソン機で打ち抜いた後に、まわりの不要な部分や穴のカスを取り除き、仕上に繋げる工程です。
Q: 落丁時に注意していることは何でしょうか？
A: 仕上工程に繋げる作業なので、仕上の進行具合を確認しながら落丁しています。その進行具合を見ながら、落丁の順番を変えたり、流れを止めないように意識しています。毎回効率よく落丁が出来る方法も考え

ています。またトムソンの際に発生した抜きずれ等がないかも確認しながら落丁しています。
Q: 不具合・クレームを出さない為にはどんなことをされていますか？
A: ハンマーやバリバリなどの機械を使用する時や、穴などを落す時には、製品にキズをつけないことに一番気を配ります。運搬時には指などによる傷にも注意します。基本からしませんが周囲にあるものを次工程に渡さないように注意するのが、落丁の不具合・クレームを出さない一番の対策だと思っています。編集後記
自分も少しお手伝いをしたことがあるんですが、不要な部分を取り除く作業は大変でした。職人技を駆使する作業もあり大変だったと記憶しています。(汗)それを頼りながらミスのチェックも含めて行なうと、疲労困憊になるとは思いますし、頭が下がります…。マスバック品質を維持するためにも、今後も全力で頑張ってくださいね！

社長通信 500 号 発行に当たって
創刊号を発行したのは 2013 年 11 月 5 日でしたので、11 年目、548 頁目の到達です。
きっかけは盛和塾の先輩がやっていたことをまねて始めたのですが、創刊に当たって、次のメッセージを書いています。

目ご、みなさんにお伝えしたいこと、会社やみなさんがこうなりたいと思うことがたくさんあるのですが、なかなかうまくいかなかったり時期が来なかったりで、かいたままです。この通信を定期的に発行してお伝えしていきたいと思っています。受け取ったぜひその日のうちに読んでください。またご家族にも読んでもらってください。感想のひとつでもフィードバックできればありがたいです。

この発行は、今でも全く変わっていません。A4 左右 2 段組のフォーマットも当時のままです。現在の従業員の半数である 22 名が当時から在籍しています。年に 2 回の面談で毎回、感想をお聞かせいただき、多くの方やご家族が読んで、話題にしてください。会社のなかにないインフラになっていることを、うれしく思っています。
今後も、タイムリーな情報をお伝えし、ガラス張り経営を続けていきます。

全社員に毎月の決算を公表

引き続き、社員に対して前月の東京大阪の売上、特別にかかった経費、営業利益を示し、さらに部門別の損益、次月度以降の見込みを説明しています。ひとりひとりが売上、作業の効率化、費用の削減に努めるようにしています。



ウェブサイトでブログ配信

マスバックでは、社内だけでなく社外に対しても情報を広く公開しようと、昨期、モバイル対応も考慮し、ホームページを全面的に作り替えました。ディスプレイの事例を集めた「売れる瞬間！事例集」の記事は 320 件を超え、ここからの問合せも相次いでいます。トレンドカラーなどを紹介するランディングページも好評です。



Instagramでも発信

Instagramを隔週で更新し、ディスプレイの事例紹介などを行っています。3 コマ連続投稿がわかりやすいと好評です。



工場内カメラで工程を可視化

工場内 5 カ所に Web カメラを設置し、前工程や次工程の状況を社員のパソコンやスマホから見ることができます。

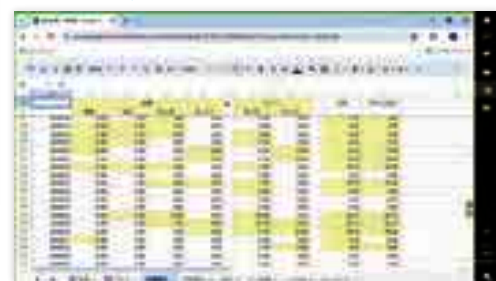


製造部員の作業時間を可視化

製造部員はひとりがいろいろな仕事を受け持つ多能工化を進めてきた結果、だれがどの仕事にどれだけの時間関わったかが見えないという課題がありました。これを可視化するために、それぞれがスマホなどに工程名、かかった時間と注文番号を入力し、そのデータを自動で集計するツールを自作しました。



〈スマホ画面〉



〈集計表〉

経営計画発表会

毎年決算直後に全従業員と社外ブレインに対して、前期の成果と反省、今期の計画を説明し、全員が同じベクトルを共有する場になっています。

従業員の声



前期の総括と今期の方針や目標をみんなが共有するための大事な場です。みんな正装して参加するのも、とても新鮮ですね。





品質経営

Quality Management

2000年に制定した品質マネジメントシステムをもとに、品質の向上に励んでいます。そのための取組も欠かしません。

製品は出荷までにたくさんの検査を経ます

受入検査、工程内検査、出荷検査、品管検査と何段階もの検査を経て、製品は作られます。お客様に安心して使っていただける製品をお届けすることに、日々努めています。



「摂津優技」を受賞

摂津市内の製造業の表彰制度「摂津優技（すぐれわざ）」にマスパックプロダクツが受賞し、市長と商工会長から表彰を受けました。



〈摂津市報 2024年1月号〉

得意先からのほめられたことリストを作成

営業の日報から、お客様からほめていただいたことを抜き出し、リストにしています。マスパックの強みを発見することに役立ちます。結果、圧倒的に試作や見積などの「スピード」が評価されていることがわかりました。

改善メモで改善活動を推進

全従業員が改善、提案をサーバー内の改善メモに書きます。今年は 220 件の改善が集まりました。品質経営委員会が選んだ毎月の改善賞を表彰します。1 年で 15 件の表彰がありました。また、最優秀改善は 7 月の経営計画発表会で表彰されます。

改善の一例：製造部のパソコンの動きが遅すぎる

→14 台のパソコンの SSD を 5 個とクローンソフトを購入して SSD 化に成功。



クレームメモ、不具合メモで再発防止

得意先から指摘があったものをクレームメモに、社内で発覚したものを不具合メモに残しています。今年度クレームは 50 件、不具合は 111 件ありました。



内部監査を実施

2000 年から行っている内部監査を今期も 2 回行いました。対象は、営業・企画の 7 工程、製造の 8 工程、プロジェクトの 3 工程の合計 18 工程です。浮き彫りにされた課題の解決を順次行っています。



マニュアルの整備

昨年作成した、社内のあらゆる仕事に対するマニュアルを検証し、見直しました。作業の標準化、効率化につながるとともに、新入社員の教科書として役立てています。



製造部内勉強会の実施

リーダー勉強会：4 回、社員勉強会：3 回、仕上げ勉強会：2 回、仕上げ設計 MTG：3 回を行い、作業方法を共有したり、品質の向上に資しています。





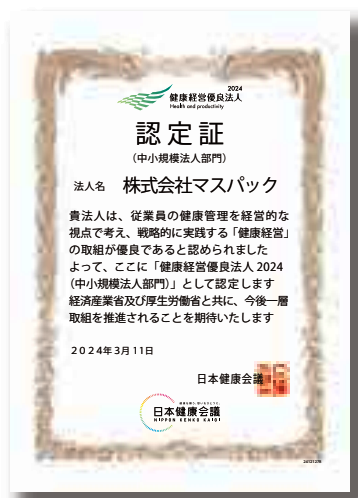
健康経営

Health
Management

従業員が物心両面で幸福であるためには全員が健康であることが重要です。
2019年から健康経営に取り組み、外部の方の力を借りながら活動を続けています。
ツキイチ保健室と健康経営委員会が共同で活動を推進しています。

健康経営優良法人 認証

昨年分社したマスパックとマスパックプロダクツの2社で認証をいただきました。



従業員の声



健康な体あってこそ、しっかり仕事ができると思います。
自分のためにも会社のためにもなる取り組みですね。



会社がこのような取り組みをしてくれているので、プライベートでも健康に気をつけたい、と思います。

大阪府健康づくりアワード奨励賞を受賞

第8回大阪府健康づくりアワードの「職場部門 奨励賞」を受賞し、表彰式に行ってきました。



ツキイチ保健室

外部の専門家に来ていただくツキイチ保健室では、引き続き、健診結果など心身の健康相談に乗ってもらう個人面談を行っています。インボディー測定により体の状態を知ることや、健康に関するセミナーも行っています。



保健室セミナー

フリーステーションさんの理学療法士や運動教室インストラクターの方による、「職場でできるストレッチ」「本気のラジオ体操」と称する座学と実践講座を行いました。みんなの毎朝のラジオ体操が見違えるほどきれいになりました。



保健室「私の健康宣言」

健康への課題はひとりずつ違うもの。ひとりひとりが年間の自分の課題を設定して「今年の健康気づきシート」に記し、毎月進捗をセルフチェック、ツキイチ保健室での面談の際にもチェックする仕組みを作りました。



健康啓蒙活動

健康経営委員会が毎月健康増進に関する資料を作成して掲示しています。ツキイチ保健室が発行してくれるツキイチニュースと合わせて健康に関する知識をアップデートしています。



歩数計チャレンジ9日間

休日に歩いた歩数を競うコンテストを、11月と5月の2回行いました。4名ずつの団体戦とし、それぞれのチャンピオンは、忘年会と経営計画発表会で表彰されます。今回の優勝チームの歩数はなんと539,478歩（ひとり1日平均14,985歩）でした。



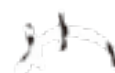
ボーリング大会を開催

大阪で終業後、20名が参加。個人と団体優勝を目指して、がんばりました。



昼休み3分間会話をしました

くじ引きで決めた相手と3分間自分の近況や思っていることなどを語り合う「トークDEトーク」。3ヶ月間行い、仲間をよく知る機会になりました。



従業員健康アンケートを実施

今期で3回目となる全従業員に対する健康に対する意識調査を行いました。独自に決めた採点方法で3年間の推移は、55点→54点→58点で、少しずつではありますが改善したことになります。



52 期の主なでき事

52 期	主なでき事	
2023 年 07 月	・保健室 インボディー測定 ・経営計画発表会 ・健康経営プロジェクト 3 分間会話 開始 ・販促 EXPO 夏 出展	 〈経営計画発表会〉
08 月	・中央区 エコアクト申込 ・EcoVadis 57 点銅メダル認証 ・FSC 森林認証 維持審査 ・貼合機用新ハンドリフト購入 ・朝礼の輪読本を鍵山秀三郎著「凡事徹底」に	 〈職場でできるストレッチ〉
09 月	・大阪の電力を CO₂フリーに変更 ・エコアクション21 西日本ミーティングにて取組を発表 ・保健室セミナー「職場でできるストレッチ」 ・第 3 回従業員健康アンケート実施	
10 月	・摂津優技 受賞 ・仕入、外注先からの請求書をメールによる pdf で受領を始める ・摂津市役所 防災担当者を招いて防災訓練 ・ボーリング大会実施	 〈摂津優技〉
11 月	・大阪府健康づくりアワード奨励賞 受賞 ・カラーコーディネーター アドバンスクラスに 2 名が合格	 〈みんなで表彰式〉
12 月	・忘年会 みんなで表彰式	
2024 年 01 月	・東京でもフィロソフィ勉強会を開始 ・保健室「私の健康宣言」設定	
02 月	・隣地の売買契約書に調印 ・エコアクション21 外部審査	 〈本気のラジオ体操〉
03 月	・エコアクション21 オプザイヤー ソーシャル部門 銅賞受賞 ・健康経営優良法人 2 社で受賞	 〈販促 EXPO 春〉
04 月	・保健室「本気のラジオ体操」講習 ・販促 EXPO 春 出展	
05 月	・朝礼の輪読本を 金田諦應著「傾聴について」に ・エコアクション21 大阪事務局 普及戦略会議 委員を拝命 ・社長通信 500 号発行 ・健康経営 第 4 回歩数計チャレンジ月間 ・疲労軽減マット 設置	 〈社員旅行〉
06 月	・社員旅行 亀岡 28 名参加	

工程・技術紹介①

だんぐりき 段繰機

中芯原紙をギザギザのついた2本の段ロールの間に通して波状に成形。これを平らな原紙（裏ライナー）と貼り合わせて規定寸法に断裁。片面ダンボールの完成です。



てんごう ごうしき 貼合・合紙機

片面段ボールとコートボールなどの板紙を貼り合わせてシートを作る加工を貼合（てんごう）、2枚以上の板紙同志を貼り合わせる加工を合紙（ごうし）といいます。
2023年1月に新機に入れ替えました。



トムソン（抜き打ち）

木型と面板の間にシート（紙、ダンボール）を挟み加圧（プレス）する事でパッケージの展開図の形に刃を入れ、折れる位置に罫を入れる打ち抜き加工です。



サックマシン

打ち抜き後の材料から箱等の完成品へ加工する機械です。シートがベルト上を移動し、糊引きから折り畳み圧着作業を一括で行い完成になります。一般的な箱や箱型什器から複雑な折り加工の必要なワンタッチ底の箱までをこなします。



両面テープ貼機

ディスプレイでは組み立ての際に、両面テープを多用します。通常は手作業で両面テープの仕込み作業を行いますが、この機械で手作業の数倍の速さで作業を進める事ができます。3種のテープをセットし、材料に貼り位置、長さを変えて貼る事が可能です。



大型インクジェットプリンター

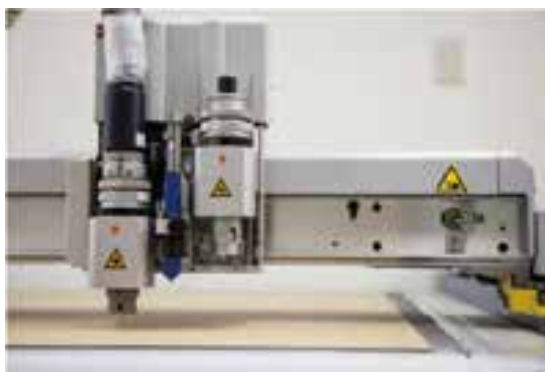
サンプル作成用に 1625mm幅まで印刷できるインクジェットプリンターを大阪、東京に設置しています。巻き取ることができない厚紙や段ボールといったフラットメディアに印刷が可能です。



工程・技術紹介②

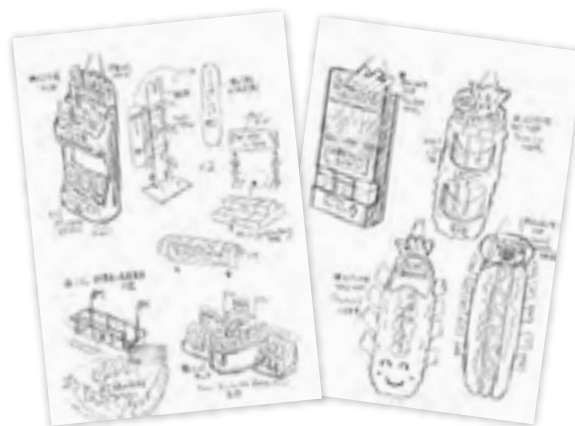
設計

マスパックで作る製品のほぼ 100%を社内で設計しています。これまでに膨大な数と種類のデータを有し、精度・スピード・強度・組み立てやすさを兼ね備えたスタッフの設計知識や経験はマスパックが誇るものです。



デザイン

チラシやポスターなど平面のグラフィックデザインと、販促のデザインは少し傾向が異なります。店頭で買い物に来た方がひとつの商品に視線を送る時間はたった0.2秒。その瞬間に訴えが届くことをめざし、デザイナーが日々デザインに取り組んでいます。



53 期メンバー紹介

株式会社マスパック 東京本社 営業部・企画部



株式会社マスパック 大阪本社 営業部・企画部



株式会社マスパック プロダクツ 製造部



第 53 期 経営計画書 全体

◆従業員が物心両面で豊かで幸福であること

物：売上を上げ、利益を上げ、配分する。売上10億、営業利益1億を必達。

心：毎朝の勉強会により傾聴力を高める。ワンオンワンは必ず毎月、時に面談者を替えて行う。健康力を高める。



◆得意先・仕入先が満足してわが社と取引してくれること

「ペーパーディスプレイの専門メーカー」を脱して「売れる瞬間創造企業」へ変貌を遂げる

マスパックの長所を伸ばしてゆく

スピード、形状、デザイン、コスト、など

他社の真似をする。

川上戦略

- ・提案パックを強化。
- ・Ai の利用を検討。

川下戦略

- ・商品のセットアップ、保管。(新社屋竣工後) 医薬部外品、化粧品も。

川幅戦略

- ・引き続き新カテゴリーを拡販。
- ・引き続きネット通販の点数を増やす。

価格、利益戦略

- ・作業時間の分析 (まずトムソン、仕上) → 必要な価格改定を行う。
- ・部門別 時間当たり採算制度を確立し、時間当たりを向上。
- ・マーズシステム改修により、事務作業を効率化。

広報戦略

- ・展示会出展は販促 EXPO に加え、マーケティング DX 展、化粧品開発展も検討。
- ・SNS は、現在と同程度の注力で、事例集ブログ、Instagram、Youtube を発信。

◆会社が発展し、社会のために役立つこと

- ・新社屋建設でワークが使いなくなる。入出荷、保管作業と外注委託を円滑にする。
- ・全部署の従業員の教育と製造部配置転換。
- ・人員を確保。
- ・環境保全活動。
引き続き、CO₂排出を最小化。



プロジェクト 環境と健康は、賞を追うことを目標とするのではなく、会社や従業員にとって良いことを目標に掲げる。



最新事例はWEBサイトから！

<https://masspack.co.jp>



Instagramで最新情報を公開中♡

Follow Us!



ECサイト・紙製什器専門の工場直販ショッップーパーディスプレイSHOP



マスパックはFSC®認証を取得。
FSC®認証紙にて製作できます。

(FSC®-C170912)



ペーパーディスプレイ

什器

販促

POP



本 社
〒566-0045 大阪府摂津市南別府町1-3
TEL.06-6340-5321 FAX.06-6340-5461

東京本社
〒104-0032 東京都中央区八丁堀3-19-9 トーエイ八丁堀ビル2F
TEL.03-5540-5656 FAX.03-5540-5639